

福角の里 師長からのメッセージ

福角の里は、県下でも数少ないユニット型老人保健施設です。

『安心安全で快適な当たり前の生活を送って頂く』ことをユニット理念として掲げています。

利用者さんの尊厳ある生活を守り、毎日を自分らしく暮らせるようにおもてなしの気持ちで笑顔引き出すケアを心掛けています。

また、生活機能の維持向上を目指し、リハビリテーションをメインに包括的にサービスを提供しています。

老人保健施設の役割である、在宅復帰・在宅支援はもちろんですが最期の看取りまで幅広い要望に応えています。

「福角の里を利用して良かった。」 「最後まで看てもらって良かった。」

・・・と感謝の言葉が私たちのやりがいです。



師長 梅林淳子

看護師からのメッセージ



福角の里は、10ユニット（内サテライト栗井2ユニット）からなる老健施設です。各ユニットに1名ずつ看護師が配置され、日々の日常生活の援助や健康管理・服薬管理など行っています。

看護師の年齢層は幅広く男女比は半々で、意見交換などしやすい環境です。施設長（医師）は平日常勤しており、入居者さんとの関わりを大切にしています。母体の福角病院が建物内に併設しているため、病院の医師との連携が取りやすく急変時など安心して対応できます。

今後も在宅復帰や在宅支援など他職種と協力し、入居者さんが穏やかに過ごせれるよう寄り添いながら、地域に根差した看護を提供していきます。



介護士からのメッセージ



【福角の里 入所】

ユニットケアを導入したことで、より家庭に近い環境で生活ができ、顔なじみで安心感があり、きめ細かなサービスを提供できるようになりました。

スタッフの半分は男性で、女性でも無理せず働くことができます。

年に1回リフレッシュ休暇や子育て世代には嬉しい看護休暇もあり、産休・育休もしっかり取れます。男性職員も育休取得できます。

利用者さんからの「ありがとう」の言葉や笑顔で私たちもやりがいを感じ楽しく働いています。

【福角の里 通所】

職員の半数は10年以上の勤務者です。育休明けの時短勤務の職員もおり、働きやすい環境の中でスタッフ協同で利用者さんが在宅で暮らしてゆけるようサポートしています。

運転職員も配置し、介護経験のない方でもスタッフがフォローして安全に送迎を行っています。

楽しく、明るくをモットーに、利用者さんの笑顔を引き出す関わりをしています。